



複雑な問題を抱えながらも、オリパラの開催が行われることとなりました。23日の開会式には世界各国のアスリートたちが国立競技場に一同に集まり、一国一国が紹介され入場してくる選手たちの表情を見てみると「ああ、ほんとうに開催できて良かったな」と思いました。この日を目標に力を尽くしてきた選手の皆さんの願いや、陰で支え続けてきた多くの人たち願いが大きな力となっていることを実感させてくれたセレモニーでもあったように思います。

もしここ日本において、オリパラが開催されていなかったとしても、多くの方は様々な社会情勢からすれば仕方がないことと納得することでしょう。私自身もつい最近までは「今オリパラどころではないでしょう」と強く思っていた一人なのです。しかし、開会式に先立って行われていたソフトボールの試合を始めとして、多くの種目が開催される中、それぞれの選手の活躍や、その背景にあったもの、あるものを紹介され知ることによって、スポーツそのものが持つ意味や理解も深まり、単なる勝った負けた、金だ銅だと言うだけのものではないなと強く感じられました。

生きる力と未来を拓いていくことの重さを、コロナを「縁」としてオリパラに教えられているようにも思えました。

## 久しぶりの同朋会 (多くの方に支えられて) 七月十日(土)

「コロナウイルス流行の影響で数か月間お休みしていましたが、岐阜県の感染状況が落ち着き、ワクチン接種も進んでいるようでしたので同朋会を開くことにいたしました。

思えばこの会も、「しだれ梅サークル」として発足し、20年ほど続いていることになりました。毎回およそ10名前後の方々の参加によって活動してまいりましたが、現在もほぼ変わらぬ状況で継続しています。この会の存続のために先頭に立ってご尽力いただきごなられた方も何人かおられますし、事情で来られなくなつた方もおられますが、「門徒の皆さんに支えられ今あることを、しみじみと感じている次第です。」

また私事ではありますが、後期高齢者を目前にして思うことは、この寺にご縁があったことをとても喜んでいきます。教員としての人生を歩み、年金生活をのんびりと送る道もあつたのですが、仏法に出会ってゆくとこの歩みの喜びは、何にもまして大切であること、「門徒の皆さんとの関わりの中で確かめられてまいりました。」

これからも開かれた寺として、聞法道場として、これでよいのかと問い続けていく姿勢を忘れないよう精進し、悔いごとのない人生を歩んで生きたいと思えます。

今年いっぱいには「高僧」について正信偈を学びますが、来年は親鸞聖人の『和讃』を通して真宗を学んでいきたいと思えます。多くの方の参加がいただけますようにと願いつつ、今後ともよろしくお願いを申し上げます。

毎月(三・八・九・十一月は除く)の第二土曜日。7時より8時半まで。

プロジェクトによる本山配信法話も観ています。

## 秋季永代経

九月二十三(木) 秋分の日 午前のみ

お斎・お持ち帰り用

法話 住職



コロナ感染状況等によって内容の変更もありますのでご了承ください。



# 今月の掲示板

## 光受寺菜園 — お花と野菜と —

光受寺はできるだけ本堂には生花をと口口思っはいますが、なかなか生花で調えることは至難でありました。購入すれば費用が大きな負担になり、生花を使うのは季節によっても異なりますが、尊前、祖師前、御代前の三尊のみでした。北余間、南余間は主に木(ぼく)のみにし、松は年々手に入りこなくなってきたことから、仕方なく人工松を年間通して使用しています。

スターチス・アガパンサスなどに既に植栽済み。ひまわりや、ダリアも良いかなと思っています。



枝豆も植えていただきましたが、土が悪く水の管理が大変です。

「せめて三尊だけでも生花で維持したい」そんな悩みにある門徒から、「遊んでいる土地があるなら、そこで花を育ててみたら」と提案されたのです。

確かに草の守だけしている50坪ほどの土地少し離れた場所にありました。今まで駐車場と畑として使っていた方から返却された土地です。やってみる自信もなかったのですが、数日後には早くも空き地は大変身していました。

設計図と作付け計画書を見せていただきましたが、計画書は完璧でした。背丈のある花を中心に育てる予定ですが、野菜も育てられそうで、収穫が楽しみです。

- 青色 青光
- 黄色 黄色
- 赤色 赤光
- 白色 白光

### 『仏説阿弥陀経』

今年日本においてオリンピックが開催されています。「口ナ」の流行に惑わされながらも、様々な国の人たちが日本にやってきました。肌の色の違いや、文化の違いなどすべてのものを乗り越え認め合える世界の実現がここにあると思うのです。

お釈迦様は『阿弥陀経』の言葉で、違う色がひかりあっている世界こそが、浄土だと教えてくださっています。いままさにオリンピックという場を通して、かけがえのない互いのいのちを認め合い確かめ合おうとして世界人類の平和の実現をしていけたらと思っております。

## 5回目



## こころの散歩

### 新「口ナ」

### 十二回連載

樹林

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年立教開宗協賛テーマ  
南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう  
— 問い続ける歩みをともし —

### 蓮如上人とお文

本願寺中興の祖と言われる蓮如上人は、「講」と「お文」によって驚異的な教団の教勢拡大を成し遂げられました。二百数十に及ぶ「お文」は、その後八十通を厳選され、五帖にまとめ全国に頒布され、それぞれの講で読み上げられるなかで、熱狂的な宗教集団が育ちていきました。

難解な教義をどのようにして民衆に理解してもらうかに腐心され、書き上げた「お文」を身の回りの人々に聞いてもらい表現の方法を研究されたと聞きます。一方では村々に講の開設をすすめられ、講では毎回お文が読み上げられ、信心を深める場になっていきました。御文は情感豊かに書かれており、民衆の心を捉え、発奮させる力を秘めたものでした。

教如上人が本願寺を開いてから長く低迷が続きましたが、蓮如上人の優れた発想により巨大教団を実現、再生を果たしました。

蓮如上人は八十五歳と長命にも恵まれ、親鸞聖人に次ぐ長寿を全うされました。中興の祖にふさわしい御生涯でした。

### 「連絡」



今月の学習会は中止です。  
今月の金曜喫茶はお休みします。  
今月の2日(月)は9時よりおみがきをします。